

11月定例会

一

般

質

問

11月定例会では、11月30日から12月5日までの4日間にわたり15人による個人質問が行われました。

市民クラブ

平成23年度一般会計歳入歳出決算の不認定

問 決算の不認定は、議会との信頼関係を大きく損なうもので、今後の予算審議をはじめ、各種案件等の審議に影響を与えかねない重大な問題である。市長就任から三度目の一般会計歳入歳出決算の不認定についての見解を伺いたい。

答 議会の決定を重く受け止めるとともに、市民からの負託を受け市政運営を任されている者として、その責任を痛感しており、深くお詫びを申し上げます。不認定の理由となった事案については、適切に対応し、再発防止の手だてを講じ、1件の不適正な事務が決算全体の不認定につながるため、全ての事務について、適正に執行するよう

自ら先頭に立ち、庁内一丸となって取り組んでいきたい。本来であれば、一度もあってはならない決算の不認定が、一年おきに三度目ということを重く受けとめ、再発防止に全力を尽くしたい。

危険崖地の崩壊対策

問 本市の自然崖地の危険箇所は約2千カ所以上で、急傾斜地崩壊対策事業の基準を満たさず救済が受けられない箇所は約1千カ所以上ある。他都市では、基準を満たさない危険な崖地の崩壊対策として補助を実施しているが、斜面地が多い長崎だからこそ補助制度を導入する考えはないか。

答 基準を満たさない小規模な崖地の防災工事に対する本市の補助制度は現在なく、個人所有の土地は所有者の責任で工事を行う必要があるが、多くの市民が利用する私道に面した崖が崩

壊した場合は、市がシート張りや土砂の撤去などの応急的な対応を行っている。また、市民からの相談には、現地調査のうえ技術的な助言や指導を行うとともに、融資制度等についても説明している。今後は他都市の事例等を参考にしながら、厳しい財政状況等を考慮のうえ、本市にあった対策を講じていきたい。

通学路の安全性向上への取り組み状況

問 香焼小・中学校の児童生徒の多くは香焼地区の安保トンネルを利用して通学しているが、スピードを出し過ぎている車が散見される。児童生徒の安全性向上のための対策について、本市の取り組み状況を伺いたい。



▲安保トンネル

たい。

答 通学路については、現在、関係機関との連携のもと安全確保に努めている。安保トンネルについては、今回、学校、PTA及び地域による通学路点検で、車道の白線が消えかかっている

ことや車がスピードを出し過ぎて危険であるという指摘があった。これを受け、白線について県へ整備をお願いしたところ、現地を確認のうえ対応したいとの回答があつている。また、車のスピードについては、何らかの安全対策ができないか、県や警察など関係機関と今後協議していきたい。

長崎サミットとの連携

問 長崎サミットをはじめとする「長崎市経営戦略推進プロジェクト」における、重点項目の取り組み及び今後の課題について伺いたい。

答 産学官が連携し、基幹製造業、観光、水産業、大学の4分野を柱に経済の振興に取り組んでいる。具体的な取り組みとしては、造船関連技術者の人材育成、MICE施設の整備可能性調査、水産練り製品品のブランド化、文部科学省の留学生交流拠点整備事業への長崎・留学生支援センター・コンソーシアムの選定等に取り組んできた。今後は、客船建造に伴う貨物や滞在技術者の



▲長崎サミットの様子